

令和2年度 第2回
「横浜市地域公共交通会議」
議事録

令和2年10月20日

議事録要旨

令和2年度 第2回「横浜市地域公共交通会議」	
日時	令和2年10月20日(火) 午前11時00分から午前12時00分まで
場所	横浜市市庁舎18階みなと6・7会議室
開催形態	公開(傍聴4名)
議題	<p>1 案件 富岡地区における交通実証実験について</p> <p>2 報告事項 (1)地域交通サポート事業取組地区の利用状況等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸塚区小雀地区「こすずめ号」 ・旭区旭中央地区「四季めぐり号」 ・金沢区東朝比奈・六浦地区 <p>(2)バス路線の維持・充実に向けた取組について</p>
議事	<p>1. 案件</p> <p>富岡地区における交通実証実験について(資料1)</p> <p>[委員] 利用者層はどのような層を想定しているのか。</p> <p>→[提案者] 高齢化が進んでいる住宅地のため、高齢者がメインのターゲットになると思われる。また、子育て世代の方にもご利用いただければと思っている。</p> <p>[委員] 運行時間帯が9時頃から17時頃までとなっているが、高齢者を利用者として想定するならば、通院が主な外出目的のひとつだと思われる。例えば、午前中の診療開始時間が9時だとすれば、もう少し前の時間帯から利用する方もいるのではないか。</p> <p>また、支払方法は、現金払いではなく、ICカードを使うのが一般的ではないか。</p> <p>加えて、敬老パスや福祉パスでの乗車の検討はしているのか。</p> <p>→[提案者] 今回の実証実験に関しては現金払いを基本に考えているが、将来的には交通事業者としてICカードで対応できないか検討している。</p> <p>[委員] 今回の無償運行の登録者が1,000人を超えているとの説明だったが、現時点での利用者数はどの位か。</p> <p>→[提案者] 10月11日からの運行日5日間の1日平均は約46回(速報数値)である。</p> <p>[委員] 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為、定員を絞って運行しているとのことだが、有償運行の段階では収支的な目標乗車人数は1日1台当たり何人か。</p> <p>また、地域内交通ということだが、既存のタクシーと競合することはないのか。</p> <p>→[提案者] 収支に関しては、運賃だけでこの事業が成り立つ見込みは小さいが、まずは運賃収入を増やすために会員登録者を増やし、利用者をさらに増やす努力をしている。また、複数回利用していただけるようにメールを配信する等の取組を行っている。運賃収入を増やす以外に、地域からの協賛や、地域の商店街と連携して送迎することなどを検討している。</p> <p>タクシー業者への競合による影響については今後、検証していく。</p> <p>2. 報告事項</p>

(1)地域交通サポート事業取組地区の利用状況について

戸塚区小雀地区「こすずめ号」(資料2)

旭区旭中央地区「四季めぐり号」(資料3)

金沢区東朝比奈・六浦地区(資料4)

→意見なし

(2)バス路線の維持・充実に向けた取組について(資料5)

→意見なし

以上